

地域リハ専門職認定研修会 カリキュラム

区分1	区分2(講義テーマ)	時間	担当	内容
I. 地域包括ケアシステム	①これまでの高齢者・障害者施策から地域包括ケアシステムへ	40	長崎県長寿社会課 田島 玲悟 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者の施策の変遷とそのサービスの変遷 ・介護保険制度や地域保健を取り巻く現状について ・地域包括ケアシステムに至るまでの経緯と安全・安心な暮らしのための将来像（地域包括支援センターを含めて） ・地域包括ケアの概要
II. 地域リハビリテーション	①地域リハビリテーションと地域包括ケア	60	ナガサキリハビリテーションネットワーク 代表 松坂 誠應 医師	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーションの基本的な考え方 ・これまでの地域リハビリテーションへの取組み ・地域包括ケアシステム構築に向けて大切な地域リハの視点
	②地域包括ケアにおけるかかりつけ医の役割	60	千住博内科 院長 千住 晋 医師	
III. 高齢者の特徴	①老年期医療学	60	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 石松 祐二 医師	・高齢者に合併しやすい疾患の概要とリスクなどの理解
	②認知症とその周辺	60	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 中根 秀之 医師	・認知症の基本的考え方と対応の仕方
	③ロコモティブシンドローム	60	長崎大学病院 リハビリテーション部 助教 松林 昌平 医師	・ロコモティブシンドロームの考え方とその実践
	④老年期健康・ケア学	50	長崎県看護協会 山口 多恵 氏	・高齢者における総合的健康管理を看護の視点から概説
IV. 実務・実践(演習)	①コミュニケーション(協働)	120	国立大学法人長崎大学 キャリア支援センター 助教 矢野 香 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種におけるコミュニケーションの基礎論と演習による体験学習 ・協働のためにコミュニケーションをどのように円滑に行うか(演習)
	②地域ケア会議	160	長崎県OT士会 村木 敏子 氏・榊原 淳 氏	<ul style="list-style-type: none"> (モデル事業の理解と疑似体験) ・地域ケア会議の進め方(考え方と実際) ・地域ケア会議の疑似体験
	③介護予防	300	ナガサキリハビリテーションネットワーク 長崎県PT・OT・ST士会	<ul style="list-style-type: none"> (モデル事業の理解と疑似体験) ・介護予防事業の進め方(考え方と実際) ・介護予防事業の疑似体験
	④災害リハビリテーション	120	Nagasaki-JRAT事務局	<ul style="list-style-type: none"> :Nagasaki-JRATメンバーによる ・JRATの概要を知る Nagasaki-JRATの概要を知る ・災害フェーズとリハ支援についてテキストを用いて説明できるようにする
V. 応用	①栄養の適性	40	長崎県栄養士会 西岡 心大 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県介護予防支援マニュアルの中から抜粋し、伝達する ・長崎県介護予防支援マニュアルを使った対応ができるための練習
	②口腔機能の適正	40	長崎県ST士会 草場 謙至 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県介護予防支援マニュアルの中から抜粋し、伝達する ・長崎県介護予防支援マニュアルを使った対応ができるための練習
	③閉じこもり・認知・うつへの対応・対策	70	長崎県OT士会 福田 健一郎 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県作業療法士会による ・長崎県介護予防支援マニュアルの中から抜粋し、伝達する ・長崎県介護予防支援マニュアルを使った対応ができるための練習

1240

※ 各項目共通の到達目標：所定のテキストがあれば、基礎知識がある他者へ伝達することができる